

水害時の避難確保計画 (神田川外水氾濫)

【施設名：】

【住所：】

令和 年 月 日 作成

様式編 目 次

文京区防災課に提出する様式（様式6は自衛水防組織を設置した場合に提出）

1	計画の目的	1	} 様式 1
2	計画の報告	1	
3	計画の適用範囲	1	
4	事前休業（休校）の判断	1	
	施設周辺の避難地図	2	別紙 1
5	防災体制	3	様式 2
6	情報収集・伝達	4	様式 3
7	避難誘導	5	様式 4
8	避難の確保を図るための施設の整備	6	} 様式 5
9	防災教育及び訓練の実施	6	
10	自衛水防組織の業務に関する事項	7	様式 6

個人情報等を含むため適切に管理する様式 ※文京区防災課への提出は不要

11	防災教育及び訓練の年間計画作成例	8	様式 7
12	施設利用者緊急連絡先一覧表	9	様式 8
13	緊急連絡網	10	様式 9
14	外部機関等への緊急連絡先一覧表	10	様式 10
15	対応別避難誘導方法一覧表	11	様式 11
16	防災体制一覧表	12	様式 12

別添	「自衛水防組織活動要領（案）」	13	} 自衛水防組織 を設置する 場合のみ作成
別表 1	「自衛水防組織の編成と任務」	14	
別表 2	「自衛水防組織装備品リスト」	14	

1 計画の目的

この計画は、本施設の利用者の外水氾濫時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

また、作成した避難確保計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、防災教育や訓練を行い、施設の職員や利用者に対して、洪水（外水氾濫）に関する知識を深めるとともに、訓練等を通して課題等を抽出し、必要に応じてこの計画を見直していくものとする。

2 計画の報告

計画を作成及び必要に応じて見直し・修正をしたときは、水防法第15条の3第2項に基づき、遅滞なく、当該計画を文京区防災課へ報告する。

3 計画の適用範囲

この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

【施設の状況】

人 数			
昼間・夜間		休 日	
利用者	施設職員	利用者	施設職員
昼間 名	昼間 名	休日 名	休日 名
夜間 名	夜間 名		

※利用者数は最大の利用者数を記載（おおよその利用者数でもよい）

4 事前休業（休校）の判断について

大型台風の襲来が予想される場合で、公共交通機関の計画的な運休が予定される場合は、臨時休業（休校）とする。

または午前____時の時点で、文京区に以下のいずれかが発令されている場合は、臨時休業（休校）とする。

- 大雨警報又は特別警報
- 洪水警報
- 高潮警報又は特別警報

※開業（開校）時間と利用者の移動にかかる時間も考慮して、休業（休校）の判断をする。

【施設周辺の避難経路図】

洪水時の避難場所は、「文京区水害ハザードマップ」の想定浸水域および浸水深から、以下の場所とする。

避難経路図

5 防災体制

連絡体制及び対策本部は、以下のとおり設置する。

【防災体制確立の判断時期及び役割分担】

体制確立の判断時期	体制	活動内容	対応要員
以下のいずれかに該当する場合 ● 大雨・洪水・高潮注意報の発表	注意体制確立	● 気象情報・洪水情報等の情報収集	● 情報収集伝達要員
以下のいずれかに該当する場合 ● 大雨・洪水・高潮警報の発表 ● 神田川外水氾濫区域に警戒レベル3「高齢者等避難」の発令	警戒体制確立	● 気象情報・洪水情報等の情報収集 ● 使用する資器材の準備 ● 周辺住民への事前協力依頼 ● 保護者（利用者の家族）等へ事前連絡 ● 要配慮者等の避難誘導	● 情報収集伝達要員 ● 避難誘導要員 ● 情報収集伝達要員 ● 情報収集伝達要員 ● 避難誘導要員
以下のいずれかに該当する場合 ● 大雨・高潮特別警報の発表 ● 神田川外水氾濫区域に警戒レベル4「避難指示」の発令	非常体制確立	● 施設内全体の避難誘導	● 避難誘導要員

6 情報収集・伝達

(1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

収集する情報	収集方法
気象情報・洪水予報・河川水位	テレビ、ラジオ、文京区防災ホームページ、文京区防災ポータル、文京区防災アプリ、文京区公式 Twitter・Facebook、文の京安心・防災メール、Lアラート、CATV、防災情報一斉通知アプリ等 ※参考となるウェブサイト ● 文京区水防災監視システム http://bousaiweb.city.bunkyo.lg.jp/mizubousai/ ● 文京区防災気象情報 http://bunkycity.bosaiinfo.jp/pinpoint/index.html ● 気象庁 http://www.jma.go.jp/jma/index.html ● 東京アメッシュ https://tokyo-ame.jwa.or.jp/
警戒レベル3 「高齢者等避難」	テレビ、ラジオ、文京区ホームページ、文京区公式 Twitter・Facebook、文の京安心・防災メール、Lアラート、CATV、防災情報一斉通知アプリ、緊急速報メール（エリアメール）、Yahoo!防災速報等
警戒レベル4 「避難指示」	テレビ、ラジオ、文京区ホームページ、文京区公式 Twitter・Facebook、文の京安心・防災メール、Lアラート、CATV、防災情報一斉通知アプリ、緊急速報メール（エリアメール）、防災行政無線（放送内容は24時間以内に電話応答システム（0180-993-997）で確認できます）、Yahoo!防災速報等

(2) 情報伝達

- ①「施設内緊急連絡網」に基づき、また館内放送や掲示板を用いて、体制の確立状況、気象情報等の情報を施設内関係者間で共有する。
- ②施設利用者等を避難させる場合は、別紙「緊急連絡先一覧表」及び「緊急連絡網」に基づき、保護者（利用者の家族）等に対し、「_____（避難先）に避難する」旨を連絡するとともに、文京区防災課にも同内容をメール（b103500@city.bunkyo.lg.jp）で連絡する。
- ③施設利用者等を保護者に引き渡す場合、別紙「施設利用者緊急連絡先一覧表」に基づき、保護者（利用者の家族）等に対し、引き渡しを開始する。
- ④避難完了後、別紙「緊急連絡先一覧表」及び「緊急連絡網」に基づき、保護者（利用者の家族）等に対し、「_____（避難先）に避難した」旨を連絡するとともに、文京区防災課にも同内容をメール（b103500@city.bunkyo.lg.jp）連絡する。

7 避難誘導

避難誘導については、次のとおり行う。

(1) 避難場所

避難場所は下表のとおりとする。また、悪天候の中の避難や、夜間の避難は危険もともなうことから、施設における想定浸水深が浅く、建物が堅牢で家屋倒壊のおそれがない場合、屋内安全確保を図るものとする。その場合は、備蓄物資を用意する。

(2) 避難経路

避難場所までの避難経路については、「別紙1 避難経路図」のとおりとする。
また、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。

(3) 避難誘導

避難場所までの移動距離及び移動手段は、以下のとおりとする。

立ち退き避難の場合の避難場所

	名 称	移動距離	移動手段
避難場所		m	<input type="checkbox"/> 徒歩
			<input type="checkbox"/> 車両 ____ 台

屋内安全確保を行う場合

	名 称	避難階	移動手段
屋内安全確保		階	

8 避難の確保を図るための施設の整備

情報収集・伝達及び避難誘導の際に使用する資器材等については、下表「避難確保資器材等一覧」に示すとおりである。

これらの資器材等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難確保資器材一覧

備 蓄 品	
情報収集・伝達	<input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> タブレット <input type="checkbox"/> ファックス <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話用バッテリー
避難誘導	<input type="checkbox"/> 名簿（従業員、施設利用者） <input type="checkbox"/> 案内旗 <input type="checkbox"/> タブレット <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯用拡声器 <input type="checkbox"/> 電池式照明器具 <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話用バッテリー <input type="checkbox"/> ライフジャケット <input type="checkbox"/> 蛍光塗料
施設内の一時避難	<input type="checkbox"/> 水（1人あたり__ℓ） <input type="checkbox"/> 食料（1人あたり__食分） <input type="checkbox"/> 寝具 <input type="checkbox"/> 防寒具
高齢者	<input type="checkbox"/> おむつ・おしりふき <input type="checkbox"/> お薬手帳
障害者	<input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> お薬手帳
乳幼児	<input type="checkbox"/> おむつ・おしりふき <input type="checkbox"/> おやつ <input type="checkbox"/> おんぶひも
そのほか	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> アルコール消毒液 <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> （ ）

浸水を防ぐための対策

<input type="checkbox"/> 土のう（貸与要請は文京区土木部道路課維持係に連絡する（03 - 5803 - 1250） ※土のうが必要な部分の間口（長さ（m））を図って連絡すること。 <input type="checkbox"/> 止水板 <input type="checkbox"/> その他（ ）

9 防災教育及び訓練の実施

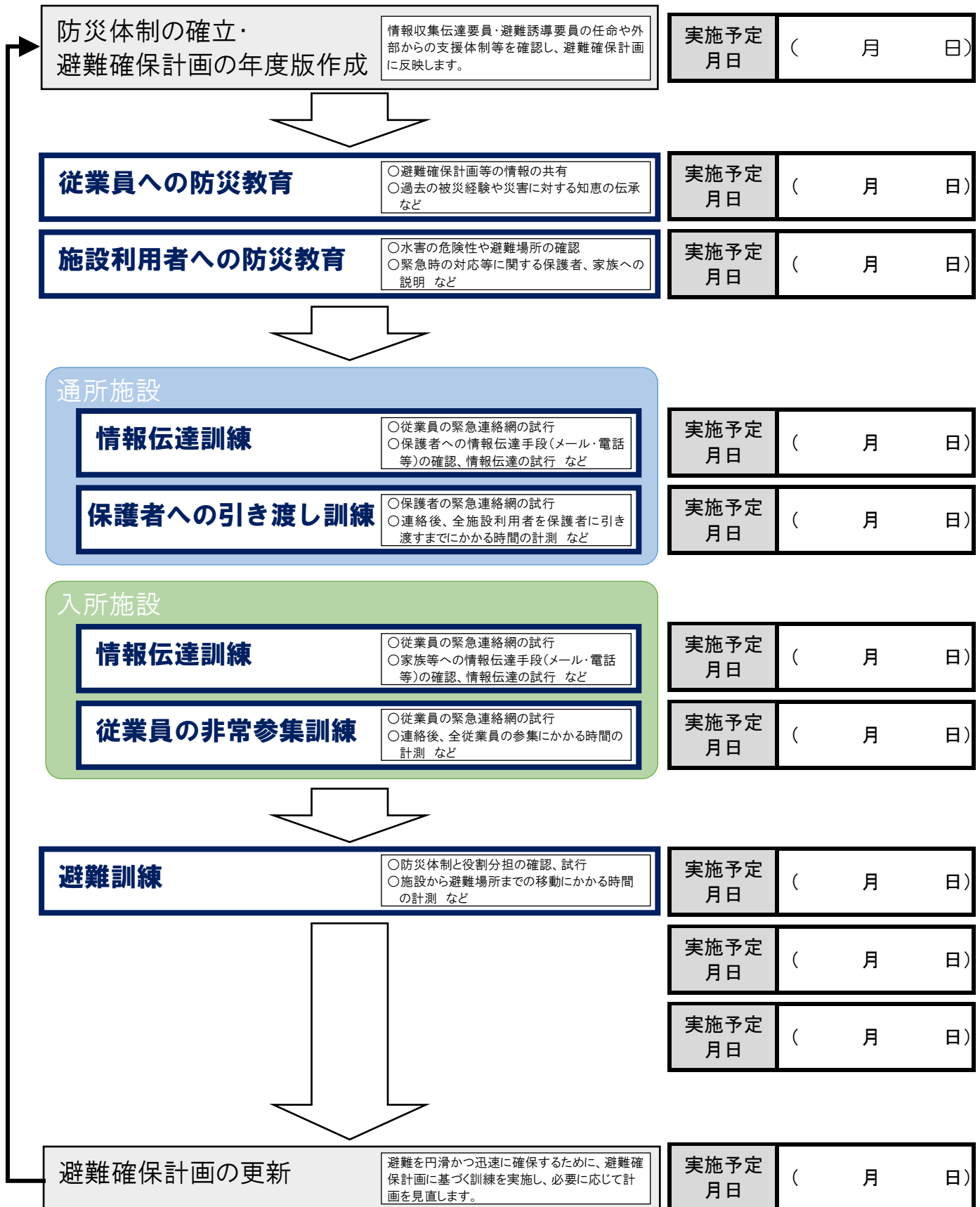
- ・毎年__月に新規採用の従業員を対象に研修を実施する。
- ・毎年__月に全従業員を対象として、情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。
- ・その他、年間の教育及び訓練計画を毎年__月に作成する。

10 自衛水防組織の業務に関する事項

※自衛水防組織を設置する場合には、様式 6 を参考に加筆・修正してください。
また、あわせて別添、別表 1・2 を作成してください。

- (1) 別添「自衛水防組織活動要領（案）」に基づき自衛水防組織を設置する。
- (2) 自衛水防組織においては、以下のとおり訓練を実施するものとする。
 - ① 毎年___月に新たに自衛水防組織の構成員となった従業員を対象として研修を実施する。
 - ② 毎年___月に行う全従業員を対象とした訓練に先立って、自衛水防組織の全構成員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。
- (3) 自衛水防組織の報告
自衛水防組織を組織または変更をしたときは、水防法第 15 条の 3 第 2 項に基づき、遅滞なく、当該計画を文京区防災課へ報告する。

11 防災教育及び訓練の年間計画作成例

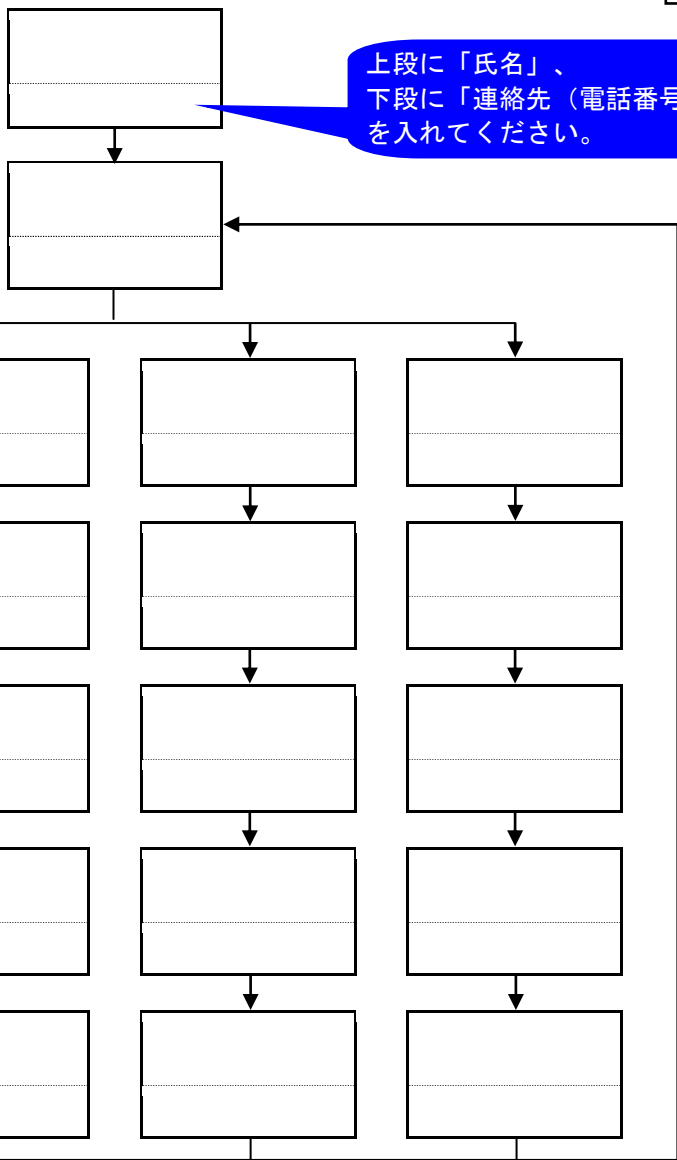


13 緊急連絡網

様式 9

従業員用と施設利用者の保護者・家族用をそれぞれ作成してください。

メールや災害用伝言ダイヤル（171）を利用した連絡方法も確立しておきましょう



上段に「氏名」、下段に「連絡先（電話番号）」を入れてください。

14 外部機関等への緊急連絡先一覧表

様式 10

連絡先	担当部署	担当者氏名	電話番号	連絡可能時間	備考
文京区（防災課）	防災担当		03-5803-1179	災害対策本部等を立ち上げている場合は24時間可	
文京区（ 課）					本施設所管課
消防署					
警察署					
避難誘導等の支援者					
医療機関					

管理権限者 () (代行者)

	担当者	役割
情報収集 伝達要員	班長 ()	<input type="checkbox"/> 自衛水防活動の指揮統制、状況の把握、 情報内容の記録 <input type="checkbox"/> 館内放送等による避難の呼び掛け <input type="checkbox"/> 洪水予報等の情報の収集 <input type="checkbox"/> 関係者及び関係機関との連絡
	班員 () 名	
	・	
	・	
	・	

	担当者	役割
避難誘導 要員	班長 ()	<input type="checkbox"/> 避難誘導の実施 <input type="checkbox"/> 未避難者、要救助者の確認
	班員 () 名	
	・	
	・	
	・	

別添 「自衛水防組織活動要領（案）」

自衛水防組織を設置する
場合のみ作成

（自衛水防組織の編成）

第1条 管理権限者は、洪水時等において避難確保計画に基づく円滑かつ迅速な避難を確保するため、自衛水防組織を編成するものとする。

2 自衛水防組織には、統括管理者を置く。

（1）統括管理者は、管理権限者の命を受け、自衛水防組織の機能が有効に発揮できるよう組織を統括する。

（2）統括管理者は、洪水時等における避難行動について、その指揮、命令、監督等一切の権限を有する。

3 管理権限者は、統括管理者の代行者を定め、当該代行者に対し、統括管理者の任務を代行するために必要な指揮、命令、監督等の権限を付与する。

4 自衛水防組織に、班を置く。

（1）班は、総括・情報班及び避難誘導班とし、各班に班長を置く。

（2）各班の任務は、別表1に掲げる任務とする。

（3）防災センター（最低限、通信設備を有するものとする）を自衛水防組織の活動拠点とし、防災センター勤務員及び各班の班長を自衛水防組織の中核として配置する。

（自衛水防組織の運用）

第2条 管理権限者は、従業員の勤務体制（シフト）も考慮した組織編成に努め、必要な人員の確保及び従業員等に割り当てた任務の周知徹底を図るものとする。

2 特に、休日・夜間も施設内に利用者が滞在する施設にあって、休日・夜間に在館する従業員等のみによっては十分な体制を確保することが難しい場合は、管理権限者は、近隣在住の従業員等の非常参集も考慮して組織編成に努めるものとする。

3 管理権限者は、災害等の応急活動のため緊急連絡網や従業員等の非常参集計画を定めるものとする。

（自衛水防組織の装備）

第3条 管理権限者は、自衛水防組織に必要な装備品を整備するとともに、適正な維持管理に努めなければならない。

（1）自衛水防組織の装備品は、別表2「自衛水防組織装備品リスト」のとおりとする。

（2）自衛水防組織の装備品については、統括管理者が防災センターに保管し、必要な点検を行うとともに点検結果を記録保管し、常時使用できる状態で維持管理する。

（自衛水防組織の活動）

第4条 自衛水防組織の各班は、避難確保計画に基づき情報収集及び避難誘導等の活動を行うものとする。

別表1 「自衛水防組織の編成と任務」

自衛水防組織を設置する場合のみ作成

管理権限者 () (代行者)		
総括・ 情報班	役職及び氏名	任 務
	班長 () 班員 () 名 ・ ・ ・ ・	<input type="checkbox"/> 自衛水防活動の指揮統制、状況の把握、 情報内容の記録 <input type="checkbox"/> 館内放送等による避難の呼び掛け <input type="checkbox"/> 洪水予報等の情報の収集 <input type="checkbox"/> 関係者及び関係機関との連絡
避難 誘導班	役職及び氏名	任 務
	班長 () 班員 () 名 ・ ・ ・ ・	<input type="checkbox"/> 避難誘導の実施 <input type="checkbox"/> 未避難者、要救助者の確認

別表2 「自衛水防組織装備品リスト」

任 務	装 備 品
総括・情報班	名簿（従業員、利用者等） 情報収集及び伝達機器（ラジオ、タブレット、トランシーバー、 携帯電話等） 照明器具（懐中電灯、投光機等）
避難誘導班	名簿（従業員、利用者等） 誘導の標識（案内旗等） 情報収集及び伝達機器 （タブレット、トランシーバー、携帯電話等） 懐中電灯 携帯用拡声器 誘導用ライフジャケット 蛍光塗料